



2020年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2020年2月14日

上場会社名 JALCOホールディングス株式会社
 コード番号 6625 URL <http://www.jalco-hd.com/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 田辺 順一

問合せ先責任者 (役職名) 管理本部長 (氏名) 松島 正道

TEL 050-5536-9824

四半期報告書提出予定日 2020年2月14日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第3四半期の連結業績(2019年4月1日～2019年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第3四半期	1,268	57.7	743	79.2	431	71.1	379	81.2
2019年3月期第3四半期	804	137.1	414	781.0	252		209	41.6

(注) 包括利益 2020年3月期第3四半期 378百万円 (91.8%) 2019年3月期第3四半期 197百万円 (39.3%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第3四半期	4.44	3.92
2019年3月期第3四半期	3.77	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年3月期第3四半期	26,498	9,107	34.0	105.08
2019年3月期	19,496	8,726	44.3	100.94

(参考) 自己資本 2020年3月期第3四半期 9,015百万円 2019年3月期 8,632百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期		0.00		0.00	0.00
2020年3月期		0.00			
2020年3月期(予想)				0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,750	51.1	1,250	94.3	1,000	130.6	800	95.6	9.35

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年3月期3Q	86,598,018 株	2019年3月期	85,522,318 株
期末自己株式数	2020年3月期3Q	802,848 株	2019年3月期	428 株
期中平均株式数(四半期累計)	2020年3月期3Q	85,525,115 株	2019年3月期3Q	55,640,223 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている事業見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、【添付資料】P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における当社グループの業績は、前連結会計年度の3月に取得した3物件及び当第3四半期連結累計期間に取得した収益不動産、並びに新規営業貸付金により売上高12億68百万円（前年同期比57.7%増）、営業利益7億43百万円（前年同期比79.2%増）、経常利益4億31百万円（前年同期比71.1%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益3億79百万円（前年同期比81.2%増）となり、いずれも前年同期比を大きく上回る結果となりました。

報告セグメントの業績は次のとおりでございます。

〈貸金事業〉

当事業部門におきましては、収益性及び担保価値等を十分に吟味し、回収可能性等を慎重に検討した上で取り組んでおります。貸付期間については、1年以内の短期の貸付を中心に行っているため、期中における営業貸付金残高は増減致します。

当第3四半期連結累計期間において営業貸付金は、新規貸付46億11百万円、回収27億62百万円、純増18億48百万円により33億89百万円（前期末比120.0%増）まで増加しました。

前連結会計年度末より営業貸付金の増加に伴い、営業貸付金残高は前年同期（32億97百万円）並みの残高となり、当事業部門における売上高は、2億88百万円（前年同期比6.6%増）、セグメント利益は1億69百万円（前年同期比2.7%減）という結果となりました。

また、ソーシャルレンディング事業におきましては口座数が順調に増加しており、当第3四半期連結会計期間においてJ.LENDING-LF8号～10号の3案件を募集しました。いずれの案件も短時間での募集総額の達成となり、満額の成立となりました。当期以降におきましても、資金需要が旺盛にある貸付先が複数見込めるため、収益性及び担保価値等を十分に吟味し、ソーシャルレンディング事業も絡めて、当事業部門の収益及び利益の増加に努めてまいります。

〈不動産賃貸業〉

当事業部門におきましては、当第3四半期連結会計期間において北海道の三菱ふそう室蘭支店及び空知支店を新規取得し、収益不動産の保有残高は207億31百万円（前期末比25.0%増）となりました。前連結会計年度の2019年3月に取得した3物件及び当連結累計期間に取得した上記2物件も含めた4物件も寄与し、当第3四半期連結累計期間におきまして、当セグメントにおける売上高は9億80百万円（前年同期比83.6%増）、セグメント利益は3億25百万円（前年同期比63.9%増）となりました。

当社としては引き続き、長期・安定的な収益貢献が見込める案件については積極的に購入してまいります。

当社の収益不動産については、収益性の観点から購入依頼のご要望も多いことから、収益不動産の売却等も考慮し、収益不動産の入れ替えを図りながら、収益及び利益の増加に努めてまいります。

また、現在、売上高及び利益の増加に繋がる物流施設用不動産等の開発案件も手掛けており、来期以降の収益の増加に繋がる営業活動も行っております。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当第3四半期連結会計期間末の流動資産は、前連結会計年度末と比較して27億92百万円増加し51億82百万円となりました。これは主に、営業貸付金が18億48百万円、来期以降の収益及び利益に貢献する物流施設用不動産取得のための仕掛販売用不動産が8億6百万円及びグループ間の配当により発生した未収還付法人税等が1億74百万円増加したことなどによります。

固定資産は、前連結会計年度末と比較して42億13百万円増加し213億8百万円となりました。これは主に、山口、岡山の商業施設向けの賃貸用不動産が39億37百万円及び三菱ふそう室蘭支店、空知支店向けの賃貸用不動産が2億93百万円増加したことなどによります。

以上により、当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末と比較して70億2百万円増加し264億98百万円となりました。

(負債)

前連結会計年度末と比較して当第3四半期連結会計期間末における流動負債は、短期借入金等が46億26百万円増加し65億15百万円となり、固定負債は長期借入金が17億63百万円、新規賃貸借契約により長期預り保証金が2億30百万円増加したことなどにより19億94百万円増加し108億74百万円となりました。

短期借入金については、投資機会を逸しないように自己資本の代替としてメザニンローンを使用した為、一時的に増加しております。

以上により、当第3四半期連結会計期間末の負債残高は、前連結会計年度末と比較して66億21百万円増加し173億90百万円となりました。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末の純資産は、前連結会計年度末と比較して3億81百万円増加し91億7百万円となりました。これは主に、自己株式の取得による自己株式1億68百万円の増加による純資産の減少があったものの、親会社株主に帰属する四半期純利益3億79百万円を計上し、かつ、新株予約権行使により資本金及び資本準備金がそれぞれ86百万円増加したことなどによります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期連結業績予想に関しましては、2019年5月10日発表「2019年3月期決算短信」にて公表いたしました業績予想数値から変更はございません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	550,421	540,827
信託預金	161,596	141,896
営業貸付金	1,541,000	3,389,567
仕掛販売用不動産	—	806,144
未収入金	2,089	674
未収収益	10,238	30,023
未収消費税等	113,271	64,928
未収還付法人税等	2,473	177,271
その他	17,594	50,039
貸倒引当金	△8,520	△19,137
流動資産合計	2,390,164	5,182,236
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,418,846	1,469,999
信託建物(純額)	1,738,872	2,861,524
工具、器具及び備品(純額)	3,208	1,956
土地	9,764,962	11,094,764
信託土地	3,708,913	5,351,915
有形固定資産合計	16,634,804	20,780,160
無形固定資産		
ソフトウェア	27,908	24,493
電話加入権	284	284
無形固定資産合計	28,192	24,777
投資その他の資産		
投資有価証券	189,827	188,489
破産更生債権等	171,730	171,730
長期未収入金	87,767	86,636
差入保証金	24,268	24,391
長期前払費用	77,204	97,928
繰延税金資産	96,790	129,500
その他	44,198	63,335
貸倒引当金	△259,498	△258,367
投資その他の資産合計	432,289	503,645
固定資産合計	17,095,286	21,308,583
繰延資産		
株式交付費	10,990	7,993
繰延資産合計	10,990	7,993
資産合計	19,496,442	26,498,813

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
負債の部		
流動負債		
短期借入金	1,150,000	5,500,000
1年内返済予定の長期借入金	449,292	598,111
未払法人税等	49,522	51,258
前受金	80,392	109,100
信託前受金	18,690	18,921
匿名組合預り金	121,411	200,854
その他	20,340	37,717
流動負債合計	1,889,648	6,515,963
固定負債		
長期借入金	8,211,969	9,975,845
長期預り保証金	561,250	792,180
信託預り保証金	106,592	106,592
その他	407	299
固定負債合計	8,880,220	10,874,919
負債合計	10,769,869	17,390,882
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,274,877	4,361,261
資本剰余金	5,439,112	5,525,496
利益剰余金	△1,064,962	△685,192
自己株式	△50	△168,160
株主資本合計	8,648,976	9,033,404
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△16,673	△18,011
その他の包括利益累計額合計	△16,673	△18,011
新株予約権	94,269	92,537
純資産合計	8,726,572	9,107,930
負債純資産合計	19,496,442	26,498,813

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年12月31日)
売上高	804,806	1,268,855
売上原価	137,446	243,931
売上総利益	667,359	1,024,924
販売費及び一般管理費	252,649	281,774
営業利益	414,709	743,150
営業外収益		
受取利息	75	64
受取配当金	8,172	7,884
為替差益	3,712	—
受取賃貸料	4,812	4,812
貸倒引当金戻入額	—	1,130
その他	414	1,024
営業外収益合計	17,187	14,917
営業外費用		
支払利息	144,502	248,010
賃貸不動産経費	1,127	1,118
為替差損	—	1,250
貸倒引当金繰入額	3,764	—
借入手数料	17,231	68,715
株式交付費償却	—	2,997
新株式発行等関係費用	12,077	—
その他	1,157	4,631
営業外費用合計	179,861	326,725
経常利益	252,036	431,342
匿名組合損益分配前税金等調整前四半期純利益	252,036	431,342
匿名組合損益分配額	3,010	3,360
税金等調整前四半期純利益	249,026	427,981
法人税、住民税及び事業税	57,698	80,921
法人税等調整額	△18,244	△32,709
法人税等合計	39,454	48,211
四半期純利益	209,572	379,769
親会社株主に帰属する四半期純利益	209,572	379,769

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年12月31日)
四半期純利益	209,572	379,769
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△12,298	△1,337
その他の包括利益合計	△12,298	△1,337
四半期包括利益	197,273	378,431
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	197,273	378,431

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

第3回新株予約権の権利行使による新株発行に伴い、当第3四半期連結累計期間において資本金が86,384千円、資本準備金が86,384千円それぞれ増加し、当第3四半期連結会計期間末において資本金が4,361,261千円、資本剰余金が5,525,496千円となっております。

また、2019年8月9日開催の取締役会決議等に基づき、自己株式802,420株の取得を行っております。この結果、当第3四半期連結累計期間において、自己株式が168,110千円増加し、当第3四半期連結会計期間末において自己株式が168,160千円となっております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自2018年4月1日 至2018年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	貸金事業	不動産 賃貸事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	270,161	534,006	804,167	638	804,806	—	804,806
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	270,161	534,006	804,167	638	804,806	—	804,806
セグメント利益又は損失(△)	174,464	198,635	373,100	△9,143	363,956	△111,920	252,036

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、電子部品のブランド使用料、中古遊技機売買サイトに係るシステムの減価償却費及び運営費並びにM&A事業に係るデューデリジェンス費用等であります。

2. セグメント利益又は損失の調整額△111,920千円は、内部取引消去額94,916千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△206,837千円であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間(自2019年4月1日 至2019年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	貸金事業	不動産 賃貸事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	288,034	980,229	1,268,263	592	1,268,855	—	1,268,855
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	288,034	980,229	1,268,263	592	1,268,855	—	1,268,855
セグメント利益又は損失(△)	169,833	325,560	495,394	△3,092	492,301	△60,958	431,342

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、電子部品のブランド使用料、中古遊技機売買サイトに係るシステムの減価償却費及び運営費であります。

2. セグメント利益又は損失の調整額△60,958千円は、内部取引消去額128,534千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△189,493千円であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。